

校長室の窓から ～夢の扉第5号～ vol. 105 R4. 5. 2 (月)

遠足を行いました。5年ぶりに実施できました。

文責 学校長



～中間考査が近づいてきました。計画的な学習を。～

1 5年ぶりに遠足を実施しました。歌垣山まで往復16kmを歩きました。

4年前の雨天中止に始まり、大雨による崖崩れ、コロナ禍での2年連続中止とこの4年間実施できなかった「中高合同遠足」を4月28日(木)に天気に恵まれ、5年ぶりに実施することが出来ました。今回は中高で日程をずらして実施しました。復路はランニングで帰る元気な生徒もあり、春の1日をそれぞれ楽しみました。全校生徒諸君、疲れは取れましたか。



2 生徒会長選挙を行いました。次期会長は竹林琉稀亜くんに決まりました。

4月26日(火)の7限目に次期生徒会長選挙の立会演説会及び投票を行いました。先々週から早朝の選挙運動が開始され、26日の演説会では、2名の候補者及び応援者の演説が行われ、それぞれが公約と意思を訴えました。投票の結果、2年1組の**竹林琉稀亜**くんが当選しました。新生徒会のメンバーには、「唯一無二の誇り高き学校づくり」に向けて**斬新な発想・取組を大いに期待**しています。



3 今週の名言・・・坂本龍馬の言葉です。

いったん志を抱けば、この志にむかって事が進捗するような手段のみをとり、いやしくも弱気を発してはいけない。たとえその目的が成就できなくても、その目的への道中で死ぬべきだ。



【解説】司馬遼太郎の『竜馬がゆく』でその名を知られるようになった幕末・維新期に活躍した土佐藩の志士・**坂本龍馬**の言葉です。龍馬が生きた幕末という時代は、薩長土肥を中心に日本を改革すべく自ら志を立てて、場合によっては脱藩し、場合によっては藩の中で変革し、自らの志を果たそうとした若者が数多くいました。彼らを志士といいます。志を一度立てたら、本当にその志を果たしたいなら、弱気になることなく、たとえ目的を成就できなくてもその目的への道中で死ぬほどの覚悟で行動せよという強いメッセージの込められた言葉で、龍馬の覚悟の大きさが伝わります。波乱万丈の生涯を駆け抜けた龍馬の言葉を3週に亘って紹介します。

【坂本龍馬について】1854年、江戸修行を終えて土佐へ帰国。翌年に父が他界する。1856年に再び剣術修行のため江戸に出て、武市半平太とともに築地の土佐藩邸中屋敷に寄宿。1858年に土佐へ帰国する。1861年、武市半平太が土佐藩を尊王攘夷の方向へ導くため、土佐勤王党を結成。龍馬も加盟する。しかし勤王党の尊王攘夷の主張は藩内の支持を得ることができず、1862年3月に龍馬は土佐藩から脱藩。この時期に長州藩の久坂玄瑞、高杉晋作らとも交流。1862年8月に江戸に出て小千代道場に寄宿。その後、勝海舟の門人となる。その後は日本の未来のために志士として活動し、1865年には貿易会社と政治組織を兼ねた**亀山社中**(後の海援隊)を結成。1866年には雄藩として大きな影響力をもつ薩摩藩(西郷隆盛ら)と長州藩(木戸孝允)の同盟の幹旋や江戸幕府の終焉となる1867年の**大政奉還**の成立に尽力し、倒幕および明治維新に影響を与えた。しかし大政奉還成立の1ヶ月後の1867年12月10日、坂本龍馬は近江屋で暗殺され(近江屋事件)、31年の生涯を閉じた。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週の話成語・・・「山中の賊を破るは易く、心中の賊を破るは難し」【問題】英語では?

山中に立てこもっている賊を討伐するのはやさしいが、心の中の邪念に打ち勝つことはむずかしい。自分の心を律することは困難であるというたとえ。

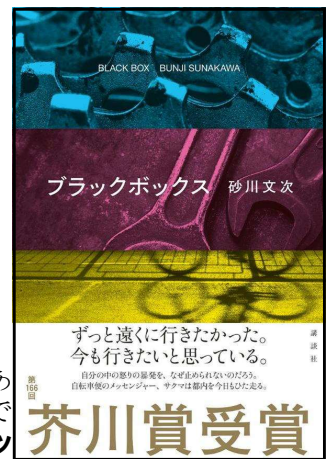
【由来】明王朝の時代の中国の思想家・王陽明の文章「与楊仕徳薛尚誠書」に由来する言葉です。軍隊を率いて南方の反乱軍を討伐したときに、「山中の賊を破るは易く、心中の賊を破るは難し(山賊を滅ぼすのはたやすいが、心の中の邪念をふり払うのは難しい)」と述べて、精神を鍛錬することの重要性を説いています。心中の賊(睡魔・スマホなど)に打ち勝って勉学に励みましょう。

5 入試によく出る漢字(その30)・・・センターテスト(2010年度追試験)に挑戦!

- (1) 対照的な**ヒ**ジャタイが前提条件であるという。〔①**ヒ**サイチを見舞う。②議案の**カヒ**を問う。③情報を**ヒ**クする。④**ヒ**ソクセンパクな考え方。⑤**ヒ**ジョウ事態を宣言する。〕
- (2) 不確かな腕に依るよりはるかに**ジン**ソク正確に、〔①仏道に**ショウジン**する。②**ジン**ゴに落ちない。③フンジンの活躍。④ジンダイな影響。⑤ジンヨウを整える。〕
- (3) 同一物のゾウ**ショク**や再生であり、〔①**ゴショク**を訂正する。②魚をヨウ**ショク**する。③キ**ショク**マンメンの笑み。④イ**ショク**足りて礼節を知る。⑤ソウ**ショク**過多な建築。〕
- (4) 変質をヨギなくされる生きた世界の出来事であって、〔①概念をテイ**ギ**する。②モ**ギ**試験を受ける。③丁寧にお**ジギ**をする。④エン**ギ**をかつぐ。⑤ケン**ギ**をかけられる。〕
- (5) 画家とは、独裁者でも業務**シッコウ**ニンでもなく、〔①モウ**シュウ**にとらわれる。②キョ**シュウ**を明らかにする。③家業をセ**シュウ**する。④古い校舎をカイ**シュウ**する。⑤シュウ**シュウ**がつかない。〕

6 今週の一冊・・・砂川文次の『ブラックボックス』（講談社）です。

第166回芥川賞受賞作。ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自衛隊を辞め、いまは自転車メッセンジャーの仕事に就いているサクマは、都内を今日もひた走る。昼間走る街並みやそこかしこにあるであろう倉庫やオフィス、夜の生活の営み、どれもこれもが明け透けに見えているようで見えない。張りぼての向こう側に広がっているかもしれない実相に触れることはできない。(参考：本書裏表紙説明より)



【解説】芥川賞受賞作として図書館に入っていましたので、早速読んでみました。芥川賞にありがちな独特の世界観を持ちながらも、自転車メッセンジャーの世界をリアルに描いた作品です。トラブルの結果が先に提示され、時間軸が前後しながら展開するのは、まるで**ブラックボックスの記録を解析するかのよう**に、主人公の現在地にたどり着く経緯が次第に明らかとなるという構成になっています。そのような構成は、主人公サクマの衝動的に動いて後から意味を考える思考回路と似たところもあります。読む側も徐々に作品世界に引き込まれながらも、自分の生き方ははたしてちゃんとしているのだろうか振り返りながら、もがく男の深層心理を辿っていくことになる。そんな小説です。170ページの作品なので一気に読める作品です。

【作者・砂川文次について】1990年、大阪府生まれ。神奈川大学卒業。元自衛官。現在、地方公務員。16年、「市街戦」で第121回文学界新人賞を受賞。他の著書に『戦場のレビヤタン』がある。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第55回はイグアス国立公園(アルゼンチン・ブラジル) (登録：1986年)

【解説】ブラジルとアルゼンチンにまたがっている「**イグアス国立公園**」は、イグアスの滝を中心とした国立公園です。イグアスの滝以外にも亜熱帯動植物の宝庫であるジャングルには貴重な動植物が豊富です。一般観光客に開放されているイグアスの滝の周辺は、この公園全体の約0.3%を占めるに過ぎません。とはいっても公開範囲は広大な区域ですので、これだけで公園の広さをうかがうことができます。

イグアスの滝はイグアス川下流にある世界最大の滝です。「イグアス」とは、先住民グアラニ族の言葉で「**大いなる水**」という意味です。周辺に点在する**大小275の滝の総称**で、二段構造の滝が多いのが特徴です。世界三大瀑布のひとつ（北米・ナイアガラ滝、アフリカ・ヴィクトリア滝）ですが、アメリカ大統領 T.ルーズベルト夫妻がここを訪れた際、夫人がその規模に思わず「かわいそうなナイアガラ!」と言ったそうです。イグアスの滝の最大落差は80mを超え、滝幅は約4.5km、水量は毎秒6万5000tにも達します。その勢いのため、100年で30cmほど削られて上流へと後退しています。イグアスの滝の中でもいちばんの見どころは、「**悪魔の喉笛**」と呼ばれるポイントです。大量の水が流れ落ちる轟音のすさまじさが、まるで**悪魔の唸り声**のようであることがこの名前の由来だそうです。アルゼンチン側とブラジル側と、どちらから行くかで見え方も変わってきます。悪魔の喉笛を見下ろすような感じで見たいならアルゼンチン側、対岸から臨むならブラジル側です。滝を見学するにはいろいろな方法があって、遊歩道を歩いて行ったり、船やヘリコプターに乗って見学という手段もあります。船で行くともものすごい迫力で見られますが、もれなくずぶ濡れになるという楽しいオプション付きです。



8 街角グルメを訪ねて・・・第55回は佐賀市の「76Pain (ナナロクパン)」です。

感染拡大防止の観点からしばらくはパン屋巡りシリーズでお届けします。佐賀駅から南へまっすぐ、佐賀のメインストリートともいえる佐賀市唐人町には、老舗の料理店やお洒落なカフェ、スポーツジムから雑貨屋まで様々なお店が立ち並びます。そんな中で2020年4月に新たにオープンした「**76Pain**」を紹介します。佐賀駅から県庁に向かう道の左側にあります。駐車場もお店のすぐ近くにあり、満車の時は道路の向かい側に第2駐車場も数台停めることが出来ます。ハード系のパンの種類が多く、**ハード系パンが好きな方にはお薦め**です。庶民的というよりはやや高級感のあるパン屋さんで、お値段もお高めです。この店のパンは、長時間熟成で発酵させた高加水の生地を使用しているとのこと。また、使用する小麦は国産のみ、ショートニングやマーガリンは一切使わずバターを使うこだわりで、「できるだけ体に負担のない、むしろ体に良くて美味しい『いいパン』を作りたい」との思いで国産小麦に拘ったパン作りをしているそうです。この日は家族3人で、**大きなソーセージのサンドとクルミレーズン・カカオドショコラ・ホワイトチョコアールグレイ・オレンジとカレンツのビスターチオクリームサンド・ベリークリームチーズ**を購入。いずれも満足のいく味でした。定休日は、月曜、第2・4日曜。住所は、佐賀市唐人2-2-14 LINKTOWN 1 1Fです。



9 保護者の皆様へ・・・送迎時の左折ルールをお守りください。

1年生の保護者の皆様には、合格者登校日の際にご説明したとおり、登下校時の車での送迎の際には、車の流れがスムーズに行くように、文化会館・梅林駐車場のどちらも左折入場・左折退場をお願いしておりますが、そのルールを守られていない保護者がいるのご指摘を受けています。くれぐれも**迷惑送迎にならないようにお願いします。**

【英語】◇ Easy to defeat the thieves in the mountains, difficult to defeat the thieves in the hear. ◇ it's hard to discipline one's mind. ◇ defeating the bandits in the mountains is easy ◇ defeating the bandit in one's heart is hard

【正解】(1)被写体〔被災地・可否・秘匿・皮相浅薄・非常〕(2)迅速〔精進・人後・奮迅・甚大・陣容〕(3)増殖〔誤植・養殖・喜色満面・衣食・装飾〕(4)余儀〔定義・模擬・辞儀・縁起・嫌疑〕(5)執行人〔妄執・去就・世襲・改修・收拾〕